

## 緩やかな回復の動きを続ける県内経済

### 1. 平成19年3月の県内経済

消費動向をみると、大型小売店販売額は前年同月比で増加したが、乗用車販売台数は主力の中小型乗用車の低迷が響き前年割れとなるなど低調、消費は総じて横這い圏内の動きとなっている。生産活動は、電子部品・デバイスや自動車関連の業種を中心として、増勢基調で推移し、雇用動向は有効求人倍率が16ヵ月連続で前年を上回るなど改善基調を維持している。一方、投資動向では、新設住宅着工戸数が前々月からの反動増もあり前年同月を上回ったが、公共工事前払保証取扱請負金額は前年割れとなるなど低調に推移している。以上のことから、県内経済は消費や投資動向などで盛り上りに欠けるものの、生産活動と雇用情勢が牽引役となり、基調としては緩やかな回復の動きを続けているとみられる。

**〔消費動向〕 横這い：**大型小売店販売額（前店舗）は前年同月をやや上回った。乗用車販売台数は、主力の中小型乗用車を中心に低迷が続いており、総数でも3ヵ月連続で前年同月を下回った。消費者物価指数は、2ヵ月ぶりに前月を上回った。個別企業の販売動向をみると、家電量販店では、テレビ、デジカメ、白物家電等が好調、前年同月を上回り推移した。ホームセンターでは、灯油やドラッグ用品が落込み、前年並みの水準で推移した。旅行取扱額は、団体旅行が国内・海外とも低調だったことから、全体では前年同月をやや下回った。以上のことから、消費は総じて横這い圏内で推移している。

**〔投資動向〕 減少：**公共工事前払取扱保証請負金額は、県、市町村からの発注減により前年同月を下回った。建設着工棟数（民間・非居住用）は、前年同月を上回ったが、床面積、工事費予定額とも前年同月を大きく下回った。新設住宅着工戸数は、前年同月を上回ったが、前々月からの反動増によるものであった。

**〔生産活動〕 増加基調：**個別企業の動向を業種別にみると、薄型テレビ、携帯電話などデジタル家電や自動車向けなど幅広い用途で堅調な電子部品・デバイス工業、樹脂材料や電子部品向け原料などが好調な化学、海外からの受注が好調な情報通信機械、精密機械、鉄鋼・非鉄金属などの業種でそれぞれ増産となった。これらの動きと並行して、大口電力販売量も44ヵ月連続して前年同月を上回っており、生産活動は総じて増加基調で推移している。

**〔企業倒産〕 悪化：**倒産件数および負債金額とも前年同月を大幅に上回るなど悪化した。

**〔金融動向〕 横這い：**2月の預金、貸出金は前年同月比ほぼ横這いの水準で推移した。

**〔雇用動向〕 改善基調：**新規求人倍率ならびに有効求人倍率とも前年同月を上回り、改善基調が維持されている。

県内経済動向の概要

	項 目	2 月		3 月		4 月	
		前年同月比	前 月 比	前年同月比	前 月 比	前年同月比	前 月 比
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	↗	↘	↔	↗	—	—
	乗用車新車登録台数	↘	↗	↘	↗	↘	↘
	消費者物価指数（総合）	↗	↗	↔	↗	—	—
投資動向	公共工事前払保証取扱保証請負金額	↗	↘	↔	↗	↘	↘
	建設着工棟数（民間・非居住用）	↗	↔	↗	↗	—	—
	新設住宅着工戸数	↗	↗	↗	↗	—	—
生産活動	鉱工業生産指数（総合）注1	↗	↗	—	—	—	—
	大口電力販売量	↗	↗	↗	↗	—	—
企業倒産	企業倒産件数	↗	↗	↗	↗	↗	↗
	企業倒産金額	↗	↗	↗	↗	↗	↗
金融動向	預 金 注2	↗	↔	—	—	—	—
	貸 出 金	↘	↘	—	—	—	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）注3	↗	↗	↗	↘	—	—
	新規求人倍率（パート含む）注3	↗	↗	↗	↔	—	—

良化 ↗      良化傾向にあるがほぼ横這い ↔      悪化傾向にあるがほぼ横這い ⇐      悪化 ↘

注1：季節調整済。      注2：預かり資産含む。      注3：季節調整値。

## 2. 直近の県内経済

### 消費動向

**大型小売店** 3月の県内大型小売店の販売額は全店舗ベースで193億99百万円(前年同月比0.6%増)となり、12ヵ月連続で前年を上回った。また、既存店ベースでは同1.6%減となり、15ヵ月連続で前年を下回った。業態別に内訳をみると、百貨店は、婦人服の伸びにより主力の衣料品が前年を上回ったものの、飲食料品が低迷し、合計では40億64百万円(同1.8%減)となり、6ヵ月連続で前年を下回った。スーパーでは、主力の飲食料品がビール、清涼飲料水などを中心に伸び、鮮魚、野菜などが低調だったものの、合計では153億35百万円(同1.3%増)となり、13ヵ月連続で前年を上回った。

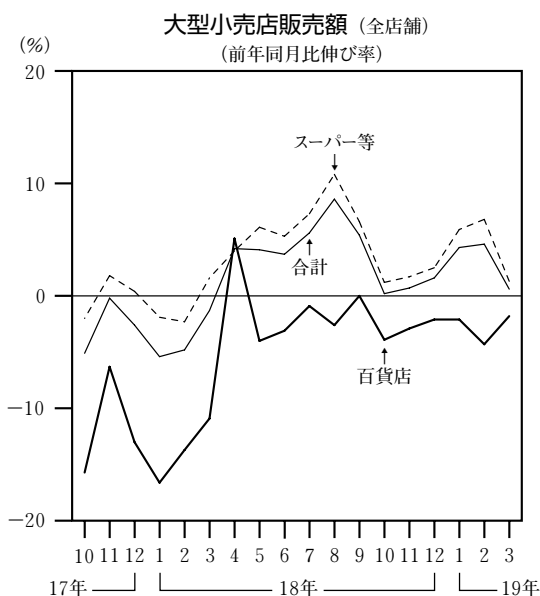
**乗用車販売** 4月の乗用車新車登録台数(軽乗用車含)は、主力の中小型乗用車などが減少したため、4,704台と前年同月比4.8%減と3ヵ月連続で前年を下回った。車種別で見ると、大型乗用車が624台(同18.3%減)と4ヵ月連続で前年を下回り、中小型乗用車も2,159台(同9.1%減)と19ヵ月連続で前年を下回った。一方、軽乗用車は、

1,921台(同6.7%増)と11ヵ月連続で前年を上回っている。3月の乗用車中古車登録台数(軽自動車は名義変更を含む)は、18,470台と前年同月比10.7%減となった。車種別にみると、大型乗用車は5,205台と前年同月比10.3%減、中小型乗用車は7,592台と同12.0%減、軽乗用車は5,673台と同9.3%減となった。

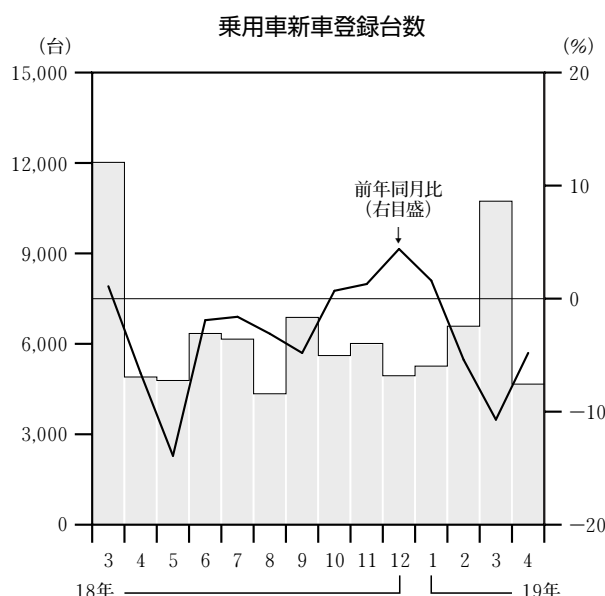
**消費者物価指数** 3月の消費者物価指数は、総合指数(福島市、平成17年=100)が99.6と前月比で0.3ポイント上昇し、前年同月比では0.1ポイント下降した。費目別の指数動向をみると、「被服及び履物」は96.0と前月比7.1ポイント、「食料」は99.6と同0.4ポイント、「保健医療」は98.4と同0.2ポイント、「交通・通信」は98.7と同0.2ポイントそれぞれ上昇した。一方、「住居」は100.9と前月比0.4ポイント、「水道・光熱」は104.2と同0.1ポイントそれぞれ下降した。

**家電量販店** 4月は、薄型テレビ、携帯電話、デジタルカメラなどの販売が好調に推移した。また冷蔵庫や洗濯乾燥機など白物家電の販売も、異動シーズン本番を迎えたことなどもあり引続き好調に推移した。

**ホームセンター** 4月の売上は、インテリア用品など家庭用品や園芸・植物、ペット用品が前年同



(資料：経済産業省)



(資料：県乗用車販売店協会)

月と比べて伸びたものの、灯油や化粧品・医薬品などドラッグ部門が落ち込み、全体では前年をやや上回る水準で推移した。

**旅行** 3月の旅行取扱額実績のうち、国内旅行の団体は、低調に推移し前年同月を下回った。一方、ハワイや欧州など海外旅行の個人は好調だったものの、団体が前年を割り込んだ。国内外合計の取扱額では、前年をやや下回り推移した。

**高速道路** 3月の県内自動車道の通過台数は合計で3,652,925台（前年同月比0.1%減）となった。路線別にみると、東北自動車道（白河IC～国見IC）が2,201,556台（同0.3%減）、磐越自動車道（いわき三和IC～郡山東IC）が245,959台（同5.0%増）、磐越自動車道（磐梯熱海IC～西会津IC）が491,120台（同1.9%減）、常磐自動車道（いわき勿来IC～常磐富岡IC）が714,290台（同0.3%増）となった。

**福島空港** 4月の福島空港国内便の利用状況は、札幌便が8,030人（前年同月比1.7%減）、増便により大阪便が23,562人（同14.5%増）、沖縄便が6,756人（同0.9%減）、名古屋便が減便により1,331人（同40.0%減）となった。国際便では、上海便が1,518人（同13.2%減）、ソウル便は減便

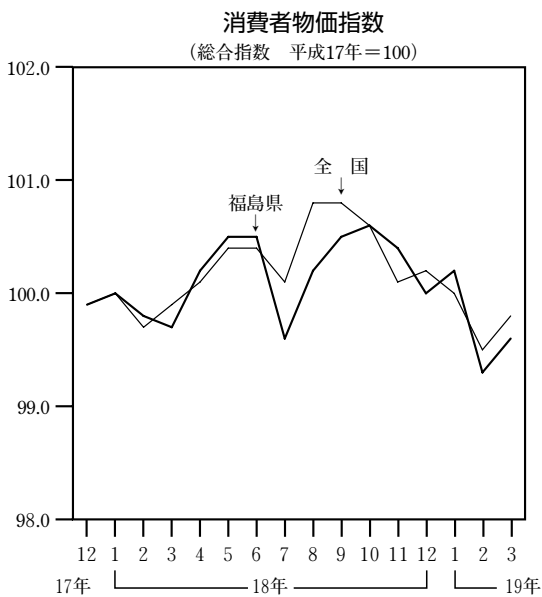
により4,551人（同9.7%減）となった。搭乗率をみると、国内便が58.0%（同5.8ポイント増）、国際便は75.4%（同5.7ポイント増）となった。

## —— 投資動向 ——

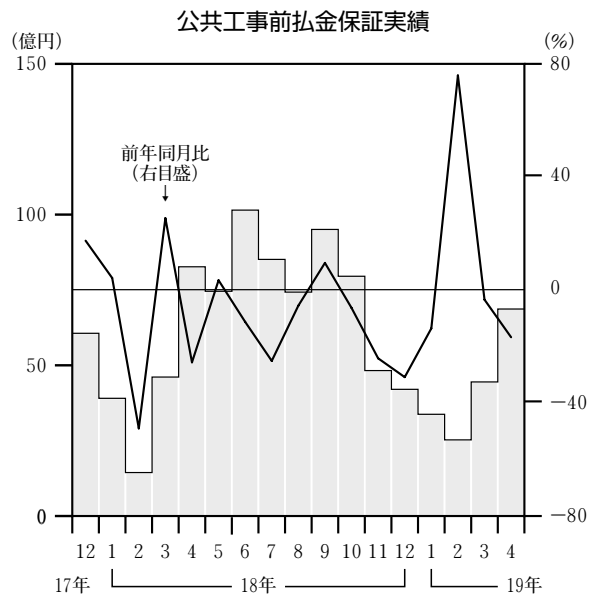
**公共工事** 4月の公共工事前払保証取扱は、件数が361件と前年同月比6.2%増加したが、請負金額が18,002百万円と同14.5%、保証金額は6,884百万円と同16.7%それぞれ減少した。国、公団・事業団からの発注工事が前年を下回ったことが影響した。

**設備投資** 3月の建築着工（民間・非居住用）の棟数は、190棟（前年同月比24.2%増）、床面積は、53,316㎡（同43.7%減）、工事費予定額は、3,229百万円（同78.0%減）とそれぞれ減少した。

**住宅建設** 3月の県内新設住宅着工戸数は、929戸と前年同月比35.2%増加した。利用関係別でみると、持家は469戸（前年同月比6.3%増）、貸家は262戸（同26.0%増）、分譲は198戸（同421.1%増）となった。特に、分譲は前月、前々月の反動増から大きく伸びた。



(資料：総務省統計局)



(資料：東日本建設業保証㈱)

— 生産活動 —

**鉱工業生産指数** 2月の鉱工業生産指数は、季節調整指数でみると109.4で前月比3.5%上昇し、原指数でみると104.0で前年同月比4.8%上昇した。業種別（原指数）にみると、一般機械工業が169.8と同27.1%、精密機械工業が99.9と同14.0%それぞれ上昇した。一方、化学が86.9と前年同月比4.8%、金属製品工業が95.6と同4.4%それぞれ減少した。

**化学** 4月の食品包装フィルム用合成樹脂の生産は、国内外の好調な受注を背景に、前年同月を上回る水準で推移した。金属代替プラスチックや炭素繊維も電子部品向けの受注増などを背景に高操業の生産が続いており、前年同月を上回った。4月の酸化チタン（白色顔料、自動車用塗料向け）の生産は前年並みの水準で推移、バリウム化合物（電子部品原料）の生産は液晶用塗料向けなどの受注が好調であり、前年同月を上回った。

**鉄鋼・金属** 4月のトラック用鋳造品の生産は、アジアや中南米向けの輸出増により前年同月を上回った。建機用は、オーストラリア、中国向けなど海外からの受注が好調であり、高水準の生産が

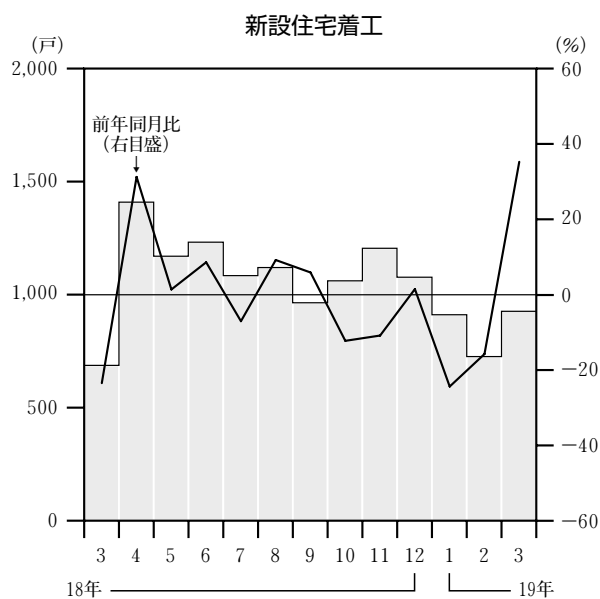
続いている。車両用は、国内での新幹線向けの受注が好調、前年並みの水準で推移した。陸船用バルブ部品は、好調な受注に支えられ、前年同月を上回る高水準の生産が続いている。

**輸送用機械** 4月の自動車用オイルシールの生産は、国内向けは低調だったものの、北米など海外向けが好調だったことから、前年をやや上回る水準で推移した。産業機械向けも、前年並みの生産で推移した。

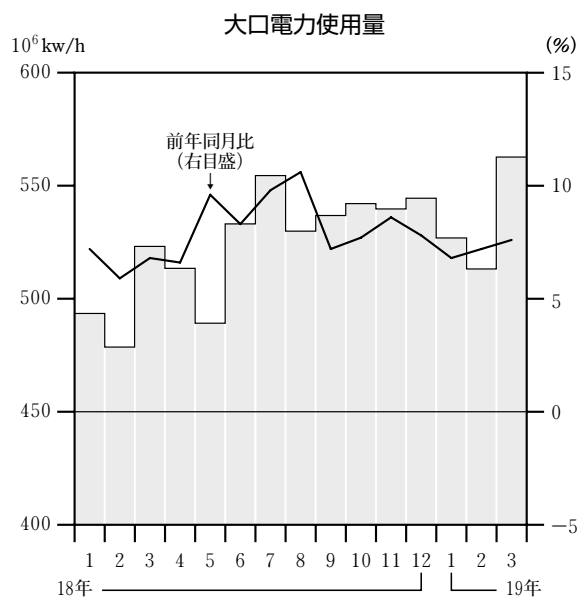
**電気機械** 4月の変圧器の生産は、一般向けの好調な受注を背景に前年を上回る水準で推移した。配電盤は、前年の反動増もあり大幅な増産となった。電熱炉、自動車モーターは、国内の堅調な受注に支えられほぼ前年並みの水準で推移した。

**情報通信機械** 4月の携帯電話中継局用マイクロ波通信機器の生産は、アジア諸国（インド向けなど）からの好調な受注を背景に、前年同月増産となった。衛星通信機器関連、OA関連機器の生産は、前年並みの水準で推移した。

**電子部品・デバイス** LSI（大規模集積回路）の受注は、2007年に入り改善の兆しが出てきており、4月の生産は前年同月をやや上回った。なかでも、ゲーム機、カーナビ、デジタルビデオカメラ、



(資料：国土交通省)



(資料：東北電力福島支店)

DVDレコーダー向けの生産が好調に推移した。

**精密機械** 4月の医療用内視鏡の生産は、昨秋以降国内向けの新製品の受注が好調であり、前年同月を上回り推移した。4月のデジタル一眼レフカメラ用レンズは、海外向けを中心に堅調な受注に支えられ、ほぼ前年並みの水準で推移した。

**紙・紙加工品** 4月の段ボールの生産は、デジタル家電向けや食品向けを中心に、安定した受注に支えられ、ほぼ前年並みの水準で推移した。感熱紙の生産は、レジスター、ATM用の受注が堅調で前年同月並の生産となった。ノーカーボン紙の生産は、各種申込用紙などで需要が低迷、前年を下回り推移した。インクジェット紙は、前年並みの生産となった。

**窯業・土石** 4月の生コンクリート出荷量は前年同月比11.6%増の119,223m<sup>3</sup>となった。地区別にみると、県北は河川工事や公共施設の新築工事など、会津では公立学校の新築工事など、いわきは駅前開発などによりそれぞれ増加した。

**木材・木製品** 2月の素材（丸太など）の入荷量は、27,552m<sup>3</sup>（前年同月比16.0%増）、販売量は27,237m<sup>3</sup>（同16.5%増）となった。また、製材品（合板など）の入荷量は2,536m<sup>3</sup>（同6.2%減）、販

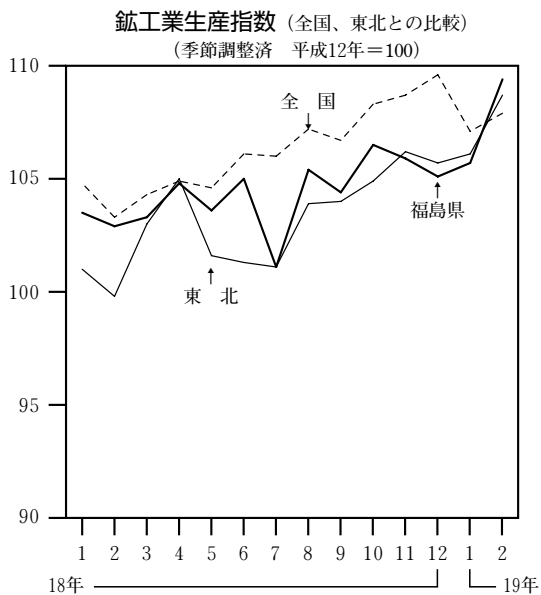
売量は2,190m<sup>3</sup>（同4.6%減）となった。

**清酒** 3月の清酒移出数量は、暖冬の影響も重なり低調に推移し、1,591kl（前年同月比6.4%減）と6ヵ月連続で前年を下回った。特定名称酒は436kl（同3.7%減）と2ヵ月ぶりに前年を下回り、また一般酒は1,155kl（同7.4%減）と10ヵ月連続で前年を下回った。

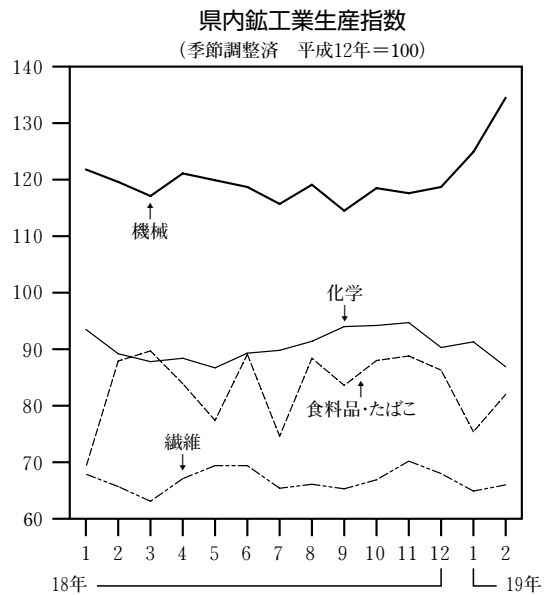
**化合繊維物** 4月のナイロンの生産は、ダウンジャケット（表地）向けが前年同月を上回り推移した。ポリエステル生産も、紳士服、婦人服の裏地等の受注が堅調、前年並みの生産となった。

**ニット** 4月のニットは、夏物向けの生産が終了し、秋冬向けの生産がスタートした。暖冬の影響が懸念される中、受注水準はほぼ前年並みとなっている。

**大口電力** 3月の大口電力販売量は、563百万kw/hと前年同月比7.6%増となった。主な販売先を業種別にみると、「電気機械」が122百万kw/h（前年同月比6.5%増）、「非鉄金属」が92百万kw/h（同11.9%増）、「輸送用機械」が60百万kw/h（同5.4%増）、「化学」が56百万kw/h（同7.7%増）、「一般機械」が32百万kw/h（同1.2%増）となった。重油高騰の影響等で自家用発電からの切り替



(資料：県企画調整部 情報統計領域)



(資料：県企画調整部 情報統計領域)



えが進む「パルプ・紙」が33百万kw/h（同39.5%増）と大きく増加した。

## —— 企業倒産 ——

**企業倒産** 4月の企業倒産（負債総額10百万円以上）は、件数10件（前年同月比66.7%増）、負債金額は大型倒産の影響で655億60百万円（同3581.1%増）と大幅に増加した。倒産原因をみると、10件中6件が受注・販売不振によるものであった。次に業種別にみると、サービス業が4件、建設業が3件などとなっている。地区別では、県北が4件、次いで会津が3件、浜通りが2件、県南が1件となっている。

## —— 金融動向 ——

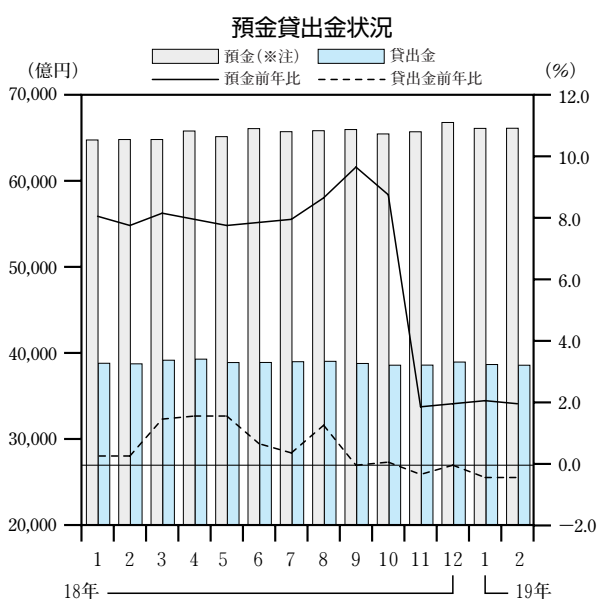
**資金需要** 県内金融機関（全国銀行、第二地銀、信用金庫、信用組合の県内店舗分）の2月末の預金残高は6兆92億73百万円と前年同月比では0.01%減となった。なお、預り資産（公共債、投資信託、個人年金保険）は、5,971億86百万円（同28.1%増）となり、預金からのシフトなどにより増加

を続けている。貸出金残高は、3兆8,526億91百万円と前年同月比で0.4%減となった。製造業の設備資金（県内地元3銀行）は前年同月比11ヵ月連続で増加した。

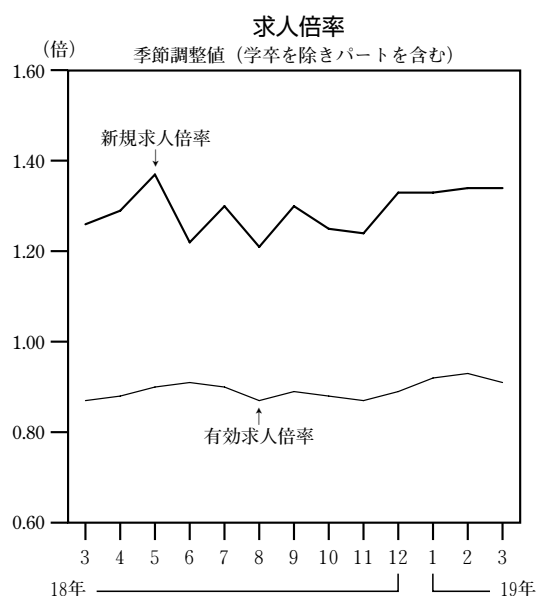
**保証協会** 4月の保証承諾は、件数1,065件（前年同月比3.9%増）、保証金額93億57百万円（同10.7%増）となった。代位弁済は、件数6件（同20.0%増）、金額50百万円（同5.9%減）となった。4月末の保証債務残高は、件数43,816件（同2.5%増）、金額3,034億97百万円（同1.2%減）となった。

## —— 雇用動向 ——

**雇用動向** 3月の新規求人数は13,883人と前年同月比0.7%減少し、新規求職申込件数は10,640件と同6.3%減少した。新規求人倍率（季節調整済、パート含）は1.34倍と前月と変わらず、前年同月比では0.1ポイント上回った。また、有効求人倍率（季節調整済、パート含）は0.91倍と前月比0.02ポイント下回り、前年同月比では0.03ポイント上回った。



注：平成17年11月から預り資産を含む  
（資料：東北財務局福島財務事務所）



（資料：福島労働局職業安定部）